

(令和5年度)犬山市市民活動助成金 審査委員講評・指摘事項について

【全体】

- ・市民活動助成金の助成を受けるということは、市民の皆さんが支払った税金を使って活動することを意味します。いかに市民に広げていくかという観点を持って事業を検討し、本助成金への申請を行うようにしてください。また、本助成に採択された事業についても、市民への広がり意識して、事業を進めてください。
- ・助成金の提案やプレゼンテーションにあたっては、まず地域のニーズを把握し、自分たちの活動が社会にとってどう役立つのか、見極めてください。事業を行うことで、市民の皆さんへどのようなメリットが生まれるか、またこの事業を行わないことで、どのようなデメリットがあるかなどを説明できるようにしてください。
- ・自分達のやりたいことだけでなく、“市民活動”としての将来的なあり方を意識して、企画を提案してください。また、いきなり大きな事業ではなく、小さな一歩でも良いので自分達のできることからまず始めてください。
- ・“市民活動”として、門戸を広げたオープンな活動とし、多くの市民に参加してもらえる仕組みや、どこの市民にどう伝えるかということ意識してください。
- ・事業を起こすことよりも、その後、事業を継続していくことの方が難しいです。事業を継続するためには、活動費の元となる収入をどのように得るかは大きな課題となります。先行事例や他の団体の活動を参考に、自立した活動を継続できるような、収入源の仕組みづくりを検討してください。
- ・助成金申請の検討段階や申請書作成中、事業採択後の実施段階など、少しでも困ったことがあれば、団体活動のサポート窓口である協働プラザへ気軽に相談してください。

【個別】

1. 福猫の里犬山

- ・活動はしっかり行っていますが、活動することに全てのエネルギーが注がれているように思われます。活動をどのように広げていくかが課題であり、活動を持続可能なものとするため、寄付の仕組みや企業などの協力が得られるよう取り組んでください。

2. おやこ農園

- ・畑の共同管理に関する仕組みが不明瞭であったため、具体的な説明ができるようにしてください。
- ・“市民活動”として、自分達の活動をどうやって市民に広げていくのか、多くの市民に参加してもらうための工夫を検討してください。

3. スクールスマイルサポーターズ

- ・社会的意義が十分伝わる活動だと思います。自分達の身銭を切り過ぎず、講演会の参加費を適正に設定するなど、収入を得る仕組みを検討してください。
- ・活動を継続するために、参加したボランティアへの謝礼支給などの仕組み作り、またボランティアへの支援や活動の周知など、団体の運営方法の検討にも注力してください。

4. 特定非営利活動法人にこっと

・民間企業や行政が行うケースもある事業であり、あえて“市民活動”としてやる意味をもっと明確にしておいてください。「この事業は最終的に何を目標しているのか」や「ハードルを低くしてきっかけ作りをしたのか」などをもう少し明確にして、提案できるとより良かったと思います。

・取り組みとしてはとても意義があり、マッチングという直接的な手段だけではなく、意識啓発も含めより深めていってください。

5. 犬山雅楽会

・この活動の意義は色々なところに眠っていると思われるため、対象を子どもに限らず、広く活動を発展させていってください。

・市民活動助成金は、同一事業での申請が3回までとなっており、次年度以降の運営資金をどうするか不安に感じます。支出の効率化や新たな収入の獲得など、継続的な団体運営ができるような仕組み作りを検討してください。

6. NPOなのはな

・学校給食へ提供するという目標に向けた、計画や段階が示されていると良かったと思います。関係先の状況や課題などの現状を把握し、具体的な取り組みを検討してください。

・“市民活動”として、自分達の活動をどうやって市民に広げていくのか、多くの市民に参加してもらうための工夫を検討してください。

7. 竹のwa INUYAMA

・竹林をどうするかという地域課題がはっきりしており、課題に沿った活動として発展していくことで、人づくりになっていくと思います。

・市内の他の地域でも竹林をどうするかという課題を抱えており、技術やノウハウを団体の強みとして、活動を続けていってください。

8. O_COLOR

・事業の実現性に不安を感じます。まず、犬山の現状を丁寧に把握し、ニーズにあった内容を精査して事業を実施してください。

・LGBTQの情報に触れたり、当事者に触れたりする機会が少ない中で、この活動を行うことには意義があると思いますので、色々な人に協力を仰ぎ、計画を具体的にしていってください。

・いきなり大きい規模を目指すよりも、小さな規模から少しずつ始める方が良いと思います。このイベントが終わったら活動終了ではなく、その後も活動継続できる形を検討してください。

・5~10年というスパンでの活動を見据える中で、同一事業での申請が3回しかできない市民活動助成金終了後の活動資金をどうするかなど、活動継続に向けた計画も検討してください。